

大学の世界展開力強化事業（平成23年度採択）中間評価結果

大 学 名	東京工業大学
タ イ プ	B - I
構 想 名	グローバル理工系リーダー養成協働ネットワーク

◇大学の世界展開力強化事業プログラム委員会における評価

(総括評価) <b style="font-size: 2em;">A	これまでの取り組みを継続することによって、事業目的を達成することが可能と判断される。
(コメント)	<p>従来のアジア・欧州との既存の大学間交流に加え、米国を中心とする多数のリーディング大学と速やかに提携を進め、交流プログラムを順調に進めている。特に、留学生の学籍を一元的に管理するとともに、ワンストップ支援体制を確立するなど、外国人学生の受入や日本人学生の派遣に関わる環境整備について、学長のリーダーシップのもと、全学的な支援体制が取られている点は高く評価できる。</p> <p>プログラムの実施に当たり、受入側・派遣側双方で Study and Research Plan/Record を作成するなど、科目履修や研究活動について、その内容を認定する仕組みが整備されている。</p> <p>多数の大学と連携して取組を進めている点は高く評価できるが、理工系大学の世界的なネットワーク構築という観点から見ると、更にネットワークとしての協働体制を発展させていくことが望まれる。</p> <p>また、国際教養教育や英語塾等の個別の教育プログラムについては、学生の語学力向上、ひいては派遣学生数の増加に結びつくよう、内容の検討・充実をより一層進める必要がある。</p> <p>更に、受入学生数については数値目標が達成されているが、派遣学生数については数値目標をやや下回っているため、増加に転じさせるような具体的な対応策を考えることが必要である。</p>